## 食農教育活動

年４回行われる、農業体験学習の２回目が６月５日に開かれました。第１回目は、能代市立淳城西小学校４年生74人が行いましたが、今回は同校５年生70人がサツマイモとカボチャの定植を行いました。

はじめに佐々木女性部長から植え方の説明を受け、その後、さっそく定植に挑戦。児童たちは説明を受けた通りにサツマイモの苗の葉が土の外に出るよう、気をつけながら植えていき、その後、カボチャも植え元気に育つようにと水を掛けていきました。定植後は、ＪＡ営農部の施設見学を行いました。能代営農の須原センター長や販売課の清水課長補佐が案内役となり、ねぎの育苗ハウスや播種場、出荷所などを見学しました。初めて見る機械や、建物などがほとんどで、児童たちは、野菜の苗がどうやってできるのか、出荷された野菜がどのように保管されているのかを学びました。

↑女性部員と一緒に楽しく作業

↑説明を熱心に聞いています

児童からは「植物ごとに植え方が違うことがわかった。上手に植えることができたので、大きく生長してもらいたい」、「ＪＡには色々な施設があってびっくりした。これからは白神産の野菜を食べたいです」といった感想が聞かれました。

## 環境美化活動

女性部の各支部ではＪＡを利用されるお客様により良い環境を提供しようと支店の花壇整備を行っています。この活動には、支店を拠点とした協同活動の一環として支店職員も参加しています。

↑のしろ東支店の様子

↑のしろ北支店の様子

このうち女性部二ツ井支部（越前谷正子支部長）は、５月26日、二ツ井支店の花壇整備を行いました。当日は女性部員16人が参加し、二ツ井支店の前にある花壇にマリーゴールドやサルビアの花苗、キュウリなどを丁寧に植えました。支店の前は色とりどりの花で鮮やかになり、訪れたお客様の心を和ませています。

↑二ツ井支店の様子

↑藤里支店の様子

また、各支店においても女性部員が協力し花の苗を植えたほか、緑のカーテンを作るなど、活動を通して女性部員と支店職員の交流も深めることができました。